

カナダ・
エドモントン市から

地方都市の

AI戦略

■下■

エコシステム

国家人工知能（A I）戦略を受け、カナダのエドモントンでは

地域にA I産業を創出するためのエコシステムの構築を進めている。そこでは「行政の手厚い産業振興策」

「地域主導のコミュニティ」が大きな推進力になっている。産業振興策で目を引くのが、

国際社会経済研究所
(NECCグループ)主任研究員

小林 憲司

Aービジネスの振興

行政・地域が企業支援

エドモントン市とアルバータ州政府が自らピ

アウトアップが育つ。事業化の支援体制が充実し、多くの起業家に好

評だという。 「地域主導のコミュニティ」はユニーク

だ。17年に地元の実業家3人がA I産業の「25年ま

「Edmonton.」のA Iの関連産業を構築する「高い目標を掲

る。 「AI×ヘルスケア産業を当面の注力テーマにする。他の都市も

25年に100億円 狙う激戦区だが、十分に競争できると考えて

「Amii」とアルバータ州内の他の強み8

アルバータ州が持つA Iを用いたヘルスケア産業の4つの資産と強み

成功要因	資産	特徴
①A Iの専門家	・Amiiの世界的な機械学習の研究者	・先端的な術研究をリード（強化学習、自然言語処理、説明可能なA I）
②データ（アクセス）	・約400万人の電子健康記録（EHR） ・市のオープンデータ	・80%の高い普及率と詳細な記録。今秋、臨床情報システムを1つに統合 ・国内リーダー、約900のデータセット
③医療の専門家	・アルバータ大／カルガリー大の世界的な医療研究 ・世界的な10の医療関連施設 ・技術移転ラボ	・腫瘍学、臓器移植、心臓病学、ウイルス学で有名 ・糖尿病などの研究所、リハビリ病院 ・医療技術評価を含めた実用化の検討
④産業	・医療と社会福祉は主要産業 ・関連する地元企業 ・大学発のテックベンチャー	・州全体の雇用の12% ・ヘルスケア250社、医療機器93社 ・高い生存率97%

400万人のEHR（電子化された個人の生涯の健康記録）を単一機関で運用管理し、価値が生まれると考える。医療関連だけでなく、市のオープンデータや他の社会データも一つにする。He

エドモントンは国内の2都市とも互角に競争できるエコシステムを整えつつある。今回印象に残ったのは、A I産業のために新たな強みをつくる（投資する）発想はない点だ。強みとするデータの利用環境も医療費削減という社会的な課題解決の中で自然と生まれたもので、決してA Iありきではない。エドモントンは優秀なAI人材にまだ余裕があり、人件費も割安と聞く。「隠れたAI大国カナダ」の中にあり、AI人材が不足する日本には「隠れたよいパートナー」かもしれない。

よいパートナー